

高等学校 商業

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問①～大問④については、マーク式解答用紙に、大問⑤については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に名前を記入し、受験番号を次の〔記入例〕に従って、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。※1
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。※2

〔マーク式解答用紙記入例〕 ※1

解答用紙		名前	教育 花子	■				
受験番号								
	A	9	8	7	6	5	0	
A	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧ ●
B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ●	⑧ ⑨ ⑩
C	①	②	③	④	⑤	⑥ ●	⑧ ⑨ ⑩	
D	①	②	③	④	⑤ ●	⑦ ⑧ ⑨ ⑩		
E	①	②	③	④ ●	⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩			
F	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧ ⑨ ●	

〔記述式解答用紙受験番号記入例〕 ※2

受験番号	9 8 7 6 5 0
------	-------------

- 4 大問①～大問④については、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の右にある数字のうち一つを次の〔解答例〕のように黒くぬりつぶしてください。機械が判断できず回答が無効となる場合がありますので、マークはHB、Bの鉛筆で濃く確実にぬりつぶしてください。また、受験番号等の記入ミス等、不正確な記入をした場合は解答用紙が無効になることもありますので、正確に記入してください。間違っぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。なお、問題で指示している解答番号の数と、解答用紙に印字されている解答番号の数は同じとは限りません。指示された解答番号以外の箇所を記入しても採点されませんのでご注意ください。

〔解答例〕 ① 日本の首都はどこか。1～5から一つ選べ。解答番号は 2

1 京都 2 奈良 3 東京 4 名古屋 5 大阪

この場合、正答は「3 東京」なので、解答用紙の解答番号②の右横に並んでいる③を黒くぬりつぶせばよいのです。

②	①	②	●	④	⑤
---	---	---	---	---	---

- 5 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 次のビジネスに関する文章を読み、下のア～カの問いに答えよ。

売買契約を締結するにあたって、商品の品質、数量、価格などの売買条件を取り決める必要がある。取引価格の決定は、一定の慣習的な取引単位である^(a)建に基づいて決められる。また、^(b)運賃や保険料などの費用を、売り手と買い手のいずれが負担するのかを定める必要がある。さらには、受け渡しの場所や方法、時期といった受け渡し条件や、^(c)代金の受け払い方法など、さまざまな売買条件を考慮して、契約が結ばれる。

^(d)販売価格は、製造業者であれば製造原価に、また、卸売業者や小売業者であれば仕入原価に利益などを加えて決定される。代金の支払いは、^(e)約束手形や為替手形、小切手などの^(f)有価証券によってなされることが多い。

ア 下線部(a)について、次の商品代金の計算の結果で正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

1 ダースにつき¥2,400のボールペンを30グロス販売した。代金はいくらか。

- 1 ¥ 60,000
- 2 ¥ 72,000
- 3 ¥ 600,000
- 4 ¥ 720,000
- 5 ¥ 864,000

イ 下線部(b)について、運賃・保険料などのいっさいの費用を買い手が負担する価格を何というか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 現場渡し価格
- 2 持ち込み渡し価格(持込価格)
- 3 本船渡し価格(F O B 価格)
- 4 運賃保険料込み価格(C I F 価格)
- 5 運賃込み価格(C & F 価格)

ウ 下線部(c)について、引き換え払い方式のものを、1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 月賦払い
- 2 掛払い
- 3 デビットカード
- 4 ICカード型電子マネー
- 5 クレジットカード

エ 下線部(d)に関係する、次の問いについて、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

仕入価格¥700、仕入諸掛¥100の商品に、¥150の営業費を加えて¥1,000で販売した。この場合の①販売原価、②利幅、③値入率、④利幅率はいくらか。

- | | | | | |
|---|---------|---------|-------|-------|
| 1 | ① ¥ 800 | ② ¥ 50 | ③ 20% | ④ 25% |
| 2 | ① ¥ 800 | ② ¥ 150 | ③ 20% | ④ 25% |
| 3 | ① ¥ 950 | ② ¥ 150 | ③ 25% | ④ 20% |
| 4 | ① ¥ 950 | ② ¥ 200 | ③ 20% | ④ 25% |
| 5 | ① ¥ 950 | ② ¥ 200 | ③ 25% | ④ 20% |

オ 下線部(e)について、絶対的記載事項(必要的記載事項)でないものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 支払約束文句
- 2 支払場所
- 3 振出地
- 4 受取人
- 5 振出人の署名

カ 下線部(f)について、有価証券でないものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 貨物引換証
- 2 倉荷証券(倉庫証券)
- 3 船荷証券
- 4 郵便切手
- 5 株券

(2) 民法で規定された代表的な契約（典型契約）には、贈与・売買・交換をはじめとする13種類の契約がある。また、契約にはさまざまな性質があり、その観点から《諾成契約と要物契約》、《双務契約と片務契約》、《有償契約と無償契約》に分類することができるが、典型契約の一つである「売買契約」について、上記の分類をした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 諾成契約 ・ 片務契約 ・ 有償契約
- 2 要物契約 ・ 双務契約 ・ 無償契約
- 3 諾成契約 ・ 双務契約 ・ 無償契約
- 4 要物契約 ・ 片務契約 ・ 無償契約
- 5 諾成契約 ・ 双務契約 ・ 有償契約

(3) 消費者は、新製品に対する態度や価値観、行動によって次のア～オの集団に区分することができる。このア～オの各区分に最も関係の深い製品ライフサイクル（Product Life Cycle）の区分を語群から選んだ場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

語群

- ア 前期多数採用者（early majority）
- イ 後期多数採用者（late majority）
- ウ 早期採用者（early adopter）
- エ 革新的採用者（innovator）
- オ 採用遅滞者（laggard）

- | | |
|---|-------|
| a | 衰退期 |
| b | 導入期 |
| c | 成熟期 |
| d | 成長期前半 |
| e | 成長期後半 |

- 1 ア－d イ－e ウ－c エ－b オ－a
- 2 ア－e イ－c ウ－d エ－b オ－a
- 3 ア－d イ－e ウ－b エ－a オ－c
- 4 ア－e イ－c ウ－b エ－d オ－a
- 5 ア－e イ－c ウ－d エ－a オ－b

(4) 企業には、民間の個人や団体の出資によって設立された私企業があり、一個人の出資による個人企業と、複数の出資者によって運営される共同企業に分類される。この共同企業をさらに分類したとき、出資者が無限責任社員と有限責任社員で構成され、原則として全社員が事業運営にあたる企業形態はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 合名会社 2 合資会社 3 合同会社 4 株式会社 5 協同組合

(5) 高等学校学習指導要領第3節商業の「各科目」の「目標」に関する記述として適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 「ビジネス基礎」では、「ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。」と示されている。
- 2 「総合実践」では、「商業の各分野に関する知識と技術を実践的活動を通して総合的に習得させ、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行う能力と態度を育てる。」と示されている。
- 3 「ビジネス経済」では、「ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得させ、経済の仕組みや概念について理解させるとともに、経済事象を主体的に考える能力と態度を育てる。」と示されている。
- 4 「ビジネス情報」では、「情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、情報を効率的に処理することの重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てる。」と示されている。
- 5 「電子商取引」では、「ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。」と示されている。

次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 下のア～オの各費目は、次の分類表のいずれに該当するか。それぞれ1～5から一つ選べ。

解答番号はア 、イ 、ウ 、エ 、オ

分 類 表

分 類	直接経費	間接経費
支払経費	1	2
月割経費	3	4
測定経費	—	5

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 支払経費・直接経費 | 2 支払経費・間接経費 | 3 月割経費・直接経費 |
| 4 月割経費・間接経費 | 5 測定経費・間接経費 | |

- ア 電 力 料 (解答番号)
 イ 租 税 公 課 (解答番号)
 ウ 外 注 加 工 賃 (解答番号)
 エ 保 険 料 (解答番号)
 オ 特 許 権 使 用 料 (解答番号)

(2) 次の資料に基づいて短期利益計画を策定する場合、下のア～ウの問いに答えよ。なお、販売価格、変動費額、固定費額は資料と同一であり、仕掛品および製品の在庫はないものとする。

資 料

i	当期の売上高	¥ 800,000	@ ¥400×2,000個
ii	当期の総原価		
	変動費	¥ 400,000	@ ¥200×2,000個
	固定費	¥ 100,000	
iii	当期の営業利益	¥ 300,000	

ア 損益分岐点の①売上高および②販売数量はどれか。それぞれ1～5から一つずつ選べ。

解答番号は① 、②

① 売上高 (解答番号)

1 ¥ 100,000 2 ¥ 200,000 3 ¥ 300,000 4 ¥ 400,000 5 ¥ 500,000

② 販売数量 (解答番号)

1 100個 2 250個 3 500個 4 750個 5 1,250個

イ 目標営業利益¥500,000を達成するために最低限必要な③売上高および④販売数量はどれか。

それぞれ1～5から一つずつ選べ。解答番号は③ 、④

③ 売上高 (解答番号)

1 ¥ 1,000,000 2 ¥ 1,200,000 3 ¥ 1,400,000 4 ¥ 1,600,000 5 ¥ 1,800,000

④ 販売数量 (解答番号)

1 2,500個 2 3,000個 3 3,500個 4 4,000個 5 5,000個

ウ 販売価格を25%値下げするとした場合、¥500,000の営業利益を達成するために最低限必要な

⑤売上高および⑥販売数量はどれか。それぞれ1～5から一つずつ選べ。

解答番号は⑤ 、⑥

⑤ 売上高 (解答番号)

1 ¥ 1,100,000 2 ¥ 1,200,000 3 ¥ 1,500,000 4 ¥ 1,800,000 5 ¥ 2,100,000

⑥ 販売数量 (解答番号)

1 2,750個 2 3,000個 3 4,000個 4 5,000個 5 6,000個

3 次の(1)～(6)の問いに答えよ。

(1) 次の取引のうち、商品有高帳に記帳しない取引はどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 A商店から仕入れた商品に不良品があったため、返品した。
- 2 B商店に売り渡した商品に品違いがあったため、返品された。
- 3 C商店から仕入れた商品に汚損品があったため、値引きを受けた。
- 4 D商店に売り渡した商品にサイズ違いがあったため、値引きをした。
- 5 E商店から商品を仕入れ、代金は引取費用とともに現金で支払った。

(2) 次の文章を読んで、下のア、イの問いに答えよ。

会社設立後、発行可能株式総数のうち、まだ発行されていない株式を取締役会の決議によって発行し、資本金を増加させることができる。この場合、会社法の規定により株式の払込金額の総額を資本金とするのが原則であるが、払込金額の を超えない額を 資本金に計上しないことができる。

ア 文中の にあてはまるのはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 2分の1 2 3分の1 3 3分の2 4 4分の1 5 4分の3

イ 文中の下線部について、資本金に計上しない場合、次のいずれとして計上するか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 利益準備金 2 資本準備金 3 任意積立金
4 繰越利益剰余金 5 その他資本剰余金

(3) 次の文章の(ア)～(オ)に入る最も適切な語の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

企業会計には、企業外部の利害関係者に対して情報を提供する(ア)会計と、企業内部の経営者などに対して情報を提供する(イ)会計がある。

また、企業会計とは、各企業を(ウ)として、その継続的な経営活動を(エ)ごとに区切って、(オ)を用いて、記録・計算・整理し、その結果を報告することである。

- | | | | | | |
|---|------|------|--------|--------|-------|
| 1 | ア 管理 | イ 財務 | ウ 出資者 | エ 営業期間 | オ 帳簿 |
| 2 | ア 財務 | イ 管理 | ウ 会計単位 | エ 営業期間 | オ 貨幣額 |
| 3 | ア 管理 | イ 財務 | ウ 出資者 | エ 会計期間 | オ 帳簿 |
| 4 | ア 財務 | イ 管理 | ウ 会計単位 | エ 会計期間 | オ 貨幣額 |
| 5 | ア 管理 | イ 財務 | ウ 会計単位 | エ 営業期間 | オ 帳簿 |

(4) 次の文章で述べられている会計処理について、最も関係の深い原則はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

少額の消耗品をその買入時または払出時に、その全額を消耗品費勘定として処理し、資産としない方法をとることとした。

- 1 正規の簿記の原則 2 継続性の原則 3 保守主義の原則
4 重要性の原則 5 明瞭性の原則

(5) 下の5社の資料から、次のア、イに最も適する会社はどれか。それぞれ1～5から一つ選べ。解答番号はア 、イ

ア 短期（1年以内）の支払い能力が最も高い会社（解答番号 ）

- 1 A社 2 B社 3 C社 4 D社 5 E社

イ 自己資本比率による安全性が最も高い会社（解答番号 ）

- 1 A社 2 B社 3 C社 4 D社 5 E社

資 料

	A社	B社	C社	D社	E社
当座資産	7,500,000	3,800,000	7,900,000	6,200,000	7,500,000
流動資産	13,200,000	9,300,000	11,600,000	12,300,000	13,400,000
流動負債	7,300,000	4,000,000	6,900,000	6,100,000	7,500,000
固定負債	4,400,000	6,500,000	3,000,000	4,000,000	5,000,000
自己資本	11,200,000	10,400,000	8,600,000	11,800,000	13,100,000

(6) 次の勘定口座について、ア 受取利息の(a)～(c)、イ 未収利息の(d)～(g)にあてはまる適当な語の正しい組合せはどれか。それぞれ1～5から一つ選べ。なお、決算は年1回、12月31日とする。解答番号はア 、イ

ア 受取利息				イ 未収利息			
12/31	(a)	7,000	(受取高)	6,000	12/31	(d)	1,000
			12/31	(c)	1,000	1/1	(e)
		7,000		7,000			(g)
1/1	(b)	1,000					1,000

ア (a) ~ (c) の組合せ (解答番号 29)

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| 1 | a | 次期繰越 | b | 前期繰越 | c | 未収利息 |
| 2 | a | 未収利息 | b | 未収利息 | c | 損益 |
| 3 | a | 未収利息 | b | 前期繰越 | c | 次期繰越 |
| 4 | a | 損益 | b | 前期繰越 | c | 次期繰越 |
| 5 | a | 損益 | b | 未収利息 | c | 未収利息 |

イ (d) ~ (g) の組合せ (解答番号 30)

- | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|---|------|
| 1 | d | 受取利息 | e | 前期繰越 | f | 次期繰越 | g | 受取利息 |
| 2 | d | 次期繰越 | e | 前期繰越 | f | 受取利息 | g | 受取利息 |
| 3 | d | 受取利息 | e | 前期繰越 | f | 損益 | g | 受取利息 |
| 4 | d | 損益 | e | 受取利息 | f | 次期繰越 | g | 前期繰越 |
| 5 | d | 次期繰越 | e | 受取利息 | f | 受取利息 | g | 前期繰越 |

4 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 表計算ソフトを用いて作成した表について、下のア~オの問いに答えよ。

ノ	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		最終予選結果一覧表							
2	NO	テーマ	学校名	内容	構成	説得力	合計点	総合評価	備考
3	3	商品開発	○○高校	88	82	96	266	※	※
4	7	商品開発	■●高校	94	92	95	281	※	※
5	13	インバウンド	◆◆工業	88	78	61	207	※	※
6	21	防災減災	○○商業	98	100	92	290	※	※
7	45	商品開発	□□高校	56	48	54	158	※	※
8	48	商品開発	▲▲高校	50	55	65	170	※	※
9	54	インバウンド	●●商業	89	87	91	277	※	※
10	81	防災減災	○○総合	92	93	97	282	※	※
11	88	防災減災	◇◇高校	78	75	87	240	※	※
12	88	インバウンド	◆◆高校	98	94	99	289	※	※
13	89	商品開発	◇◇総合	87	80	83	250	※	※
14	72	インバウンド	○○工科	59	48	45	152	※	※
15	98	商品開発	▽▽高校	83	88	78	238	※	※
16	112	インバウンド	▼▼高校	87	58	77	233	※	※
17	123	防災減災	○○学園	76	89	89	214	※	※
18			予選通過得点	87	88	87			
19			最高得点	98	100	99			
20			最高得点校	○○商業	○○商業	◆◆高校			
21	評価表					種類別集計表			
22		合計点	総合評価	校数		テーマ	平均点		
23		0~200	C	※		商品開発	227.5		
24		201~250	B	※		インバウンド	231.6		
25		251~300	A	※		防災減災	258.5		

(注) ※は表中の値を省略している。

処理条件

1. あるプレゼンテーションコンテストの「最終予選結果一覧表」を次のように作成する。なお「内容」、「構成」、「説得力」の審査項目ごとの得点に、同点はないものとする。

- ① 「合計点」は、「内容」、「構成」、「説得力」の合計を求める。
- ② 「最終予選結果一覧表」の「総合評価」は、「合計点」をもとに、「評価表」を参照して、A、B、Cのいずれかを表示する。
- ③ 「予選通過得点」は、各審査項目の2番目に高い得点を求める。
- ④ 「最高得点」は、各審査項目の最も高い得点を求める。
- ⑤ 「最高得点校」は、各審査項目の「最高得点」の「学校名」を表示する。
- ⑥ 「備考」は、「内容」、「構成」、「説得力」のいずれかの得点が「予選通過得点」以上か、または「総合評価」がAの場合に、予選通過と表示し、それ以外の場合は何も表示しない。

2. 「評価表」の「校数」は、「総合評価」ごとに件数を求める。

3. 「種類別集計表」の「平均点」は、「テーマ」ごとに「合計点」の平均を求める。

ア D18に設定する次の式について、(a)、(b)の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

= (, 2)

- 1 (a) MAX (b) D3: D17
- 2 (a) MAX (b) D3: F17
- 3 (a) SECOND (b) D3: F17
- 4 (a) LARGE (b) D3: D17
- 5 (a) LARGE (b) D3: F17

イ D20に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

=INDEX (\$C\$3: \$C\$17, , 1)

- 1 MOD (D19, D18)
- 2 MATCH (D19, D3: D17, 1)
- 3 MATCH (D19, D3: D17, 0)
- 4 VLOOKUP (D19, D3: D17, 1)
- 5 VLOOKUP (D19, D3: D17, 0)

ウ I3～I17に予選通過と表示される数はいくつか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 5
- 2 6
- 3 7
- 4 8
- 5 9

エ D23に設定する式として適切なものはどれか1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 =COUNT (\$H\$3: \$H\$17, C23)
- 2 =COUNT (\$H\$3: \$H\$17, D23)
- 3 =COUNTA (\$H\$3: \$H\$17, C23)
- 4 =COUNTIF (\$H\$3: \$H\$17, C23)
- 5 =COUNTIF (\$H\$3: \$H\$17, D23)

オ G23に設定する次の式について、(a)～(c)の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

=AVERAGEIF (, ,)

- 1 (a) \$G\$3: \$G\$17 (b) \$B\$3: \$B\$17 (c) F23
- 2 (a) \$B\$3: \$B\$17 (b) F23 (c) \$G\$3: \$G\$17
- 3 (a) F23 (b) \$G\$3: \$G\$17 (c) \$B\$3: \$B\$17
- 4 (a) F23 (b) \$B\$3: \$B\$17 (c) \$G\$3: \$G\$17
- 5 (a) \$G\$3: \$G\$17 (b) F23 (c) \$B\$3: \$B\$17

(2) 次のア～エの問いに答えよ。

ア 2進数「110101」を10進数に変換したらいくらか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 23
- 2 31
- 3 33
- 4 51
- 5 53

イ 16進数「F 6 B」を2進数に変換したらいくらか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 (110010100001)₂
- 2 (101011111011)₂
- 3 (111101101011)₂
- 4 (100011010110)₂
- 5 (111100001111)₂

ウ 20MBのデータを、通信速度が50Mbpsで、伝送効率が50%の通信回線を利用して転送するのにかかる時間は何秒か。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 0.8秒
- 2 1.6秒
- 3 3.2秒
- 4 6.4秒
- 5 12.8秒

エ 次の(a)～(e)にあてはまるプログラム言語の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

種 類	特 徴	言語プロセッサ
(a)	機械語を記号に置きかえた言語	アセンブラ
(b)	事務処理用に開発された共通言語	コンパイラ
(c)	UNIX用に開発されたが、ソフトウェア開発に多く利用されている	コンパイラ
(d)	もともとは初心者用に開発された言語	おもにインタプリタ
(e)	ネットワークの環境に対応し、ハードウェアやOSの種類に関係なく実行できる	コンパイラ

- 1 (a) アセンブリ言語 (b) COBOL (c) JAVA (d) C (e) BASIC
- 2 (a) アセンブリ言語 (b) COBOL (c) C (d) BASIC (e) JAVA
- 3 (a) アセンブリ言語 (b) COBOL (c) BASIC (d) C (e) JAVA
- 4 (a) JAVA (b) C (c) COBOL (d) BASIC (e) アセンブリ言語
- 5 (a) JAVA (b) COBOL (c) C (d) BASIC (e) アセンブリ言語

5 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 下のア～ウの各取引について仕訳を示せ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

勘定科目

前払費用	未払費用	売 上	売上原価	賃 金
消費賃金	製 造	A組製造	B組製造	製造間接費
組間接費	製 品	A組製品	B組製品	賃 率 差 異
製造間接費配賦差異				

ア 会計期末に、製造間接費配賦差異勘定の残高を売上原価勘定に振り替えた。この会計期間中における製造間接費の予定配賦額の合計は¥1,350,000、実際発生額の合計は¥1,550,000であった。

イ 組別総合原価計算を採用しているZ製作所は、組間接費¥1,200,000を次の直接費を基準としてA組とB組に配賦した。

直接材料費	A組	¥280,000	B組	¥ 90,000
直接労務費	A組	¥320,000	B組	¥110,000

ウ 個別原価計算を採用しているX工業株式会社は、月末に当月の賃金実際消費高を計上した。ただし、賃金前月未払高は¥150,000、賃金当月支払総額は¥1,300,000、賃金当月未払高は¥100,000であり、消費賃金勘定を設けている。

(2) 下のア～キの各取引について仕訳を示せ。なお、商品に関する勘定は3分法によること。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

勘定科目

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金	建 物
土 地	建設仮勘定	支 払 手 形	買 掛 金	所得税預り金
社 債	創 立 費	開 業 費	株式交付費	資 本 金
仕 入	給 料	創立費償却	開業費償却	支 払 利 息
租税公課	社債利息	売 上	受 取 利 息	

ア 従業員の給料について源泉徴収していた所得税¥100,000を小切手を振り出して納付した。

イ A商店から商品¥200,000を仕入れ、代金のうち¥150,000はかねてより売掛金のある得意先B商店を名宛人、A商店を受取人とする為替手形(引受済)を振り出して支払い、残額は掛けとした。

ウ 建物と土地にかかる固定資産税¥180,000と店主の所得税¥75,000を現金で納付した。なお、固定資産税のうち30%については店主個人の居住部分に対するものである。

エ C商事株式会社は、設立にさいし、発起人が立て替えていた諸費用¥1,000,000を、小切手を振り出して支払った。なお、この支出額は全額を繰延資産として処理することにした。

オ D株式会社は、決算にあたり、当期末めに次の条件で発行した社債について、償却原価法にもとづいて帳簿価額を修正した。なお、帳簿価額と額面金額との差額については、決算時に帳簿価額に加算する方法をとっている。

額面総額	¥50,000,000	払込金額	額面¥100につき¥95		
利 率	年2%	利 払 い	年2回	償還期限	10年

カ さきに仕入先E商店あてに振り出した約束手形¥300,000について、本日、支払期日の延期を申し出て承諾を得たので、利息¥1,500を加えた新しい約束手形を振り出して旧手形と交換した。

キ かねて建築を依頼していた建物が完成し、本日引き渡しを受けたので、建築代金¥9,000,000のうち、すでに支払ってある¥7,000,000を差し引き、残額は小切手を振り出して支払った。

【 計算用紙 】

(必要に応じて使用すること)

【 計算用紙 】

(必要に応じて使用すること)

【 計算用紙 】

(必要に応じて使用すること)

